

巻頭言

副院長就任のご挨拶

副院長

甲谷 哲郎

この度、4月1日より副院長を拝命いたしました甲谷哲郎です。

簡単に自己紹介させていただきます。札幌南高校卒業後、昭和48年に北海道大学医学部へ入学し、昭和54年卒業すぐに北大循環器内科入局し併せて大学院へ進学しました。昭和58年に大学院修了後、市立札幌病院救急医療部（現・救命救急センター）へ勤務しました。救急医療部の発足初年度であり、24時間365日の循環器救急を循環器内科医2名で分担するという多忙な1年間を過ごしました。昭和59年に大学病院へ戻り、10月からは米国マイアミ大学医学部薬理学教室へ2年間留学し不整脈の基礎研究を行いました。帰国後、北大循環器内科で、助手、講師、助教授として診療・研究・教育に従事しました。平成14年からNTT東日本札幌病院の循環器内科部長として赴任。平成24年からは当院へ循環器内科部長として着任し、平成26年から理事を務め、平成29年、この度、副院長を拝命しました。循環器センター長、臨床研修センター長を引き続き担当し、新たに医療安全対策、救命救急センター運営に参画するように命じられました。

医療安全、救急医療、研修医教育は、病院の骨格となる重要な使命です。医療安全対策会議では医療事故はなぜ起きたかを常にオープンにして再発防止に努めている現体制をより一層強化したいと思います。救命救急センターは既にマスコミ報道されたように医師不足は否定できませんが、当院の救急体制全般を見直す機会として、ピンチをチャンスに変えるように院長を先頭にして迅速に対応しているところです。当院の研修医採用は、



ここ数年はフルマッチを続けております。「病院全体で研修医を指導する」という当院のポリシーをさらに徹底して、研修医が多数集まり続ける病院としたいと思います。

当院がこれからも真に市民のための病院としてあり続けるためには、今、何をすべきかを常に考えながら、職責を果たしたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。